



# 滝小だより

滝頭小学校学校だより 2018th

平成 30 年 5 月 31 日

## 6 月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

《学校教育目標》 手をつなぎ 進んで学ぼう 滝小の子



〒 235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344,0345 Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/> **滝頭小** **検** **索**

Mail: [y3takiga@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3takiga@edu.city.yokohama.jp) カラー高解像度版は学校 HP に掲載中 Every day



**絆いっぱい 笑顔いっぱい 大好き滝小**  
Everlasting Bonds , Shining Smiles , We ♡ TKG

## 空を見上げれば飛行機が

校長 鶴飼 数夫

5月18日、まるで真夏を思わせるような日差しの下、「滝小スキスキ！ニコニコ大作戦!!第2弾」として、90周年を記念して人文字の航空写真と全校集合写真を撮影しました。子どもたちは、炎天下の中、とてもよくがんばりました。でき上がりが今から楽しみです。人文字と学区全域が写った航空写真は、クリアファイルに印刷して、11月の記念式典の折に、記念品として全校に配布する予定です。その記念品とは違うアングルと全校の集合写真は、希望者に販売いたします。6月7日の授業参観・懇談会には、見本を提示する予定ですので、ご希望の方は、奮ってご購入ください。

右の写真は、その撮影を終えた飛行機に向かって、全校で手を振って見送っているところです。五月晴れの青空に、滝小90周年の夢と希望を載せた1機のセスナ機が気持ちよさそうに翼を振って応えてくれました。

しかし、73年前の五月晴れの空には、横浜の人々を絶望の底に落とした517機のB-29爆撃機が、空一面に舞いながら、無数の焼夷弾を雨あられの如く撒き散らしていったのです。毎年、この時期に朝会で伝えている「5.29横浜大空襲」の話です。

この5月29日というのは、実は、本校の卒業生としても有名な、あの「美空ひばり」さんの誕生日でもあったのです。昭和12年生まれの彼女は、この時ちょうど8歳。滝頭国民学校の2年生でした。一つ年上の学年の皆さんは、この前年から縁故や集団で疎開していましたから、実際にはこの空襲を目の当たりにしていませんが、彼女は疎開をせず親元で暮らしていましたので、まさに誕生日に、空襲を目の前で体験したのです。魚屋さんを営んでいたお父様は兵隊にとられ、母親と一緒に近くの防空壕に避難して一命をとりとめたということです。この原体験が、後に歌手となった彼女に形となって表れます。

戦争が終わって12歳でデビューした彼女は、その後、数多くのヒット曲を世に送り出し、昭和を代表する不世出の国民的大スターになります。そんなひばりさんの作品の中で、「一本の鉛筆」という曲があります。決してひばりさんの代表曲というわけではなく、あまり聞いたことがないとは思いますが、これは、当時、市電保存館の近くに住んでいた映画監督の松山善三さんの作詞によるもので、1974年の第一回広島平和音楽祭で歌われ、彼女の平和への願いと祈りがこめられている貴重な曲です。後に、ひばりさん自身も自分の好きな曲の10選に入るとおっしゃっていました。歌詞の一節を紹介します。

♪一本の鉛筆があれば、私はあなたへの愛を書く 一本の鉛筆があれば、戦争はいやだと私は書く♪

滝小の大先輩からのメッセージをしっかりと受け止め、この平和な青空が、ずっと続くことを願いたいものです。そんな思いも「笑顔いっぱい 大好き滝小」というスローガンにこめられているのでしょう。

青空の向こうにセスナ機を見送る

